

はつもうで 『神社は初詣で賑わいました』

大晦日の除夜から新年を迎えるとき、神社では、旧年の無事を感謝し、新年の多幸を祈願する神事が行われます。新年の初太鼓と共に、多くの方が初詣に参拝されました。

歳の瀬における河口地区皆さんによる清掃により清められた境内、ライトアップで闇夜に浮かび上がった大鳥居、随神門の光で参道も明るく、荘厳な鎮守の森で初詣の参拝をされた皆様の身も心も清められたことでしょう。拜殿前、参拝者が暖をとる焚き火の周りではお神酒が振る舞われました。

天候に恵まれた元旦の早朝8時頃から、厄年、新成人および喜寿などのお祝いの歳に当たる方々の参拝が行われました。これに加え、バスツアーや宿泊滞在の方々による参拝が増えました。これは富士山世界遺産登録の影響が考えられますが、富士山信仰の構成遺産として登録された神社にふさわしい賑やかな正月になりました。

おつつがゆさい 『御筒粥祭の行事』

御神木が建てられる正月14日午後11時半頃から15日の午前1時頃に渡り、御筒粥の神事が社務所にて行われました。この神事は神社の行事の中でも特殊な神事で、古くより伝わります。斎場となる炉の切られた部屋の四方には注連縄を張り巡らせ、清められた炉の四方と炉の東面、神座となる正面に御幣を立てます。祭壇に五柱の神を迎えます。古式に則り、祝詞36

度の奉唱により、銅の大鍋に米2升、粟、稗、大豆、小豆各2

合の五穀を勝ノ木（軍神木）の薪で1時間半ほどかけて炊き上

げられます。葎の簾に入った粥の様子から農作物の作柄や世

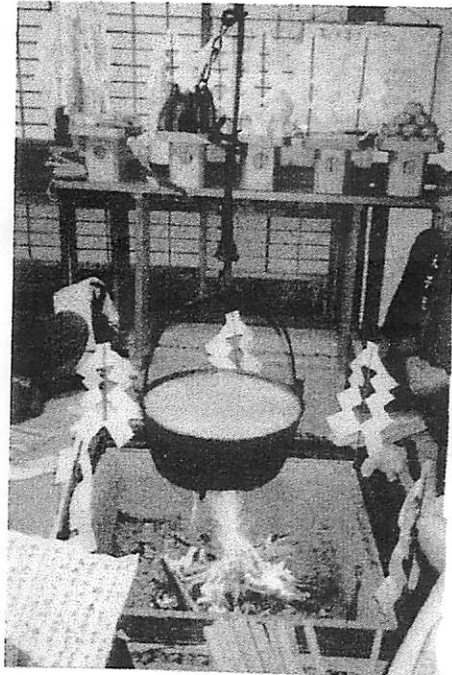


図-1 お筒粥の神事

の中の占いが行われます。この結果は全戸に配布され、農作物の作付けなどの日常の参考にされています。

『節分祭、豆まきの行事』

2月3日は節分の日。節分とは暦の上で二十四節のうち立春の前日で、寒が明けつつまり、冬から春へのかわりめにあたります。また、季節が変わる時期には邪気を生じ災いをもたらすといわれ、邪気を払い福を招く鬼やらいの行事

平 祭 年	白きもさそんきひあか丈丈な小丈ないタ	御 筒 粥 社 務
	煮りしまはえびえわ豆豆え 長長ひも相	
正 月 十 四 日	五八五五八五七五九七七八八五六五八八	謹 商 行
	トトトトトトトトトトトトトトトトト	
	若末北南西身人半滋キ百レカト尻中早	
	中実玉かか必冬夢草ッソスアトねねね	
	八八五八七七八八六七五五五四五七八八	
	トトトトトトトトトトトトトトトトト	

図-2 今年のお筒粥の結果

が全国の神社仏閣で行われます。

河口の各戸のご家庭においても鬼を払い、福を招き入れる「豆まき」が行われています。豆は神棚（歳神さん）に供えられ、「鬼は外、福は内」と、家の内外に豆をまいた後、家族全員の年齢の合計と同じ数の豆を数え、無病息災の祈りを込めて半紙に包んだ豆で身体を撫で、道祖神に納めます。



図-3 豆まき

神社では氏子であります河口地区の皆さんの幸せを祈願し、今年も福を招く節分祭の豆まきを神社境内にて行います。氏子の皆さんまた、多くの方のご参加を願いますと共に、特に今年が厄年となる方、新成人、喜寿や米寿などのお祝いの歳を迎えられました皆様のご参加をお願いしています。家内安全、健康で良き年でありますよう、豆まきをして頂きたいと存じます。

節分の神事と豆まきの予定

- 1. 神事 午後2時30分 (厄年や喜寿などの方はお祓いをしますので、ご参集ください)
- 2. 豆まき 第1回目 午後3時～
第2回目 午後3時30分～

『厄年と厄払いの行事』

厄年は、陰陽道が起源と考えられ、平安時代には既に存在したと言われています。数え年で厄年に当たる年には、厄難が多く降りかかるとされ、何事も慎み、欲張らず、健康管理に気を付けて過ごすべきとされています。男は25歳、42歳、61歳、女は19歳、33歳、37歳が厄年で、特に男の42歳と女の33歳は大厄とされ、その前の年を前厄、後の年を後厄として、注意すべき年とされています。厄年の習慣は現在でも全国的に広く信じられ、神仏の加護を受けて厄難を受けぬようにと厄払いや厄除けが行われています。

河口地区では元旦の正式参拝、御神木および道祖神祭、節分の豆まきなど、年頭から厄年の人が関わる行事が数多くあります。御神木では御神木の切り出しから奉納など、男の大厄、42歳の人たちが活躍します。この期間に上町、中町、下町の道祖神が飾られ、子供たちによる六根清浄が始まります。提灯や旗を持った子供たちが厄年に当たる家を回り、家族の干支と鬨の声を挙げ、町内の家内安全と無病息災を唱えながら神社に戻り、その日に回ったお宅の家族の干支を唱え、参拝します。(現在では上町のみ)

以上のように、年頭の行事および神事では、厄年や還暦、喜寿などの歳祝いに当たる人、更には地域の皆様のご健康とご活躍を祈念いたしております。